

鎌倉市地域福祉計画の進捗管理・評価 (令和4年度事業の総括)

鎌倉市では、令和2年度から令和7年度までの6年間における地域福祉を推進するための指針として、令和2年3月に「鎌倉市地域福祉計画」を策定しました。

本計画は、『 **お互いを尊重し、支え合いながら、ともに生きるまち かまくら** 』をめざして、5つの基本目標、10の施策、31種に分類された203の取組で構成されています。

本計画に基づく地域福祉の取組を、効果的かつ継続的に推進していくために、事業展開についての評価を行い、その都度見直しができるよう以下のように計画の進捗管理と評価を行っています。

1 進捗管理・評価

市の施策・取組について進捗管理を行うことで、計画に基づく事業展開ができたのかを検証します。その結果を市民や関係団体の代表者からなる「鎌倉市地域福祉計画推進委員会（以下「委員会」という。）」に報告し、意見をいただきます。

2 進捗状況・評価の結果

令和4年度の取組事業が達成できたかどうかを下記の4段階で確認しました。

区分		達成率	実績	構成割合
A	75%～	目標に向け順調に実施できた。又は事業が完了した。	12	80%
B	50%～	おおむね実施できたが、不十分な点が少しある。	2	13%
C	25%～	実施したが不十分な点が多い。	1	7%
D	0%～	改善が必要、又はほとんど実施できなかった。	0	0%
合 計			15	100%

(成果指標の評価実績)

3 委員会の講評

進捗管理表の各課取組実績の記載にあたっては、会議や研修会の開催回数だけでカウントし評価するのではなく、実際に問題が解決されたのかという視点を令和5年度評価において盛り込んでいただくよう、お願いしたい。

同様に、R3実績とR4実績で表現が類似している箇所が非常に多いと感じた。前回の委員会で「実績の表現を前年度と同じように再度記載する必要はないと思う。変化がある部分のみではいかがか。」と意見を述べたところだったが、結局反映はされてなかった。前年度と一緒にということであれば、一つの枠だけ読めば分かるように表現を考えていただきたい。

4 総括

令和4年度の鎌倉市地域福祉計画推進委員会の意見として以下の(1)～(6)の内容を承ったため、令和5年度は、担当課から取組推進状況を把握する際、新たに「令和4年度における課題及びその解決に向けた対応」についても確認するよう努めたところ、各課から現状の課題などを抽出することができました。令和5年度は、それらの課題への対応にも取り組んでまいります。

- (1) 目標値の設定根拠及び実績値の評価指標が不明確
- (2) アンケート調査の結果をもとに回答する場合、そのアンケートの概要が必要
- (3) 取組をもとに回答する場合、その取組の具体的な説明が必要
- (4) イベント実施をもとに回答する場合、そのイベントの概要や参加者からの評価が必要
- (5) R3とR4で実績内容が同じにも関わらず評価が異なっているものがある
- (6) PDCAを回すための報告書であることから、ABCD評価は不要。課題の抽出と改善策（今後の取組）の記載が必要

- 併せて、取組推進状況の把握にあたっては、チェックリストを活用し、担当課と認識を揃えるよう努めました。令和6年度も引き続き、
- ・ 担当課とコミュニケーションを図りながら、全庁的に地域福祉に資する取組を進められるよう、地域福祉計画の進捗管理を通じて取り組んでまいります。

回答提出にあたってのチェックリスト	CK
R4 実績の記載欄に、なぜその実績を目標達成の指標としているかの説明を新たに記載しているか(R3の初回照会時には記載を求めませんでしたが、追加照会にて多くの課に追記を求めた経緯があり、今回、初回から新たに記載いただくこととしました)	
市民等へのアンケート結果を踏まえてR4実績を回答している場合は、該当するアンケートの概要もしくは出典を記載しているか	
イベント等の取組回数の数値を R4 実績として回答している場合は、実施内容の概要と、参加者からの評価を記載しているか	